

取扱説明書

品質保証書付き

OMRON

0182086-3E

オムロン電子体温計 MC-141W-HP

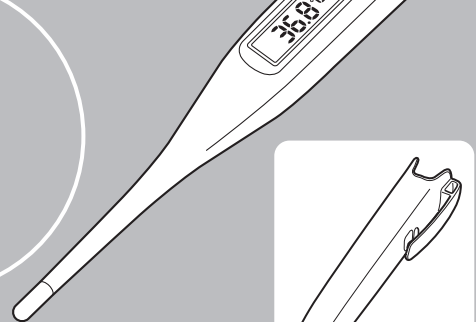
病院用

わき・口中

医療機器認証番号: 220AGBZX00016A01

けんおんくん

丸洗いや消毒が可能な防水タイプ
(JIS基準に適合した防浸形)



- お知らせブザー付き
- 防水／消毒可能
- 電池交換可能
- 実測式
- 前回値メモリ機能付き



- このたびは、オムロン製品をお買い上げいただきましてありがとうございました。
- 安全に正しくお使いいただくため、ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読みください。
- 本書は、いつもお手元においてご使用ください。
- 本書は品質保証書を兼ねています。紛失しないように保管してください。

A Good Sense of Health

安全上のご注意

お使いになる前に必ずお読みください。

- ここに示した内容は、製品を安全に正しくお使いいただき、お使いになる人や、他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するためのものです。
- 表示と意味は次のようになっています。

■警告、注意について

警告 誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負うことが想定される内容を示します。

注意 誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり物的損害*の発生が想定される内容を示します。

* 物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットに関わる拡大損害を示します。

■図記号の例

- 記号は強制（必ず守ることを）を示します。（左図は“必ず守る”）
- 記号は禁止（してはいけないこと）を示します。（左図は“禁止”）

体温計の正しいあてかた

体温計を正しくあてて測らないと、精度の高い検温値が得られない場合があります。

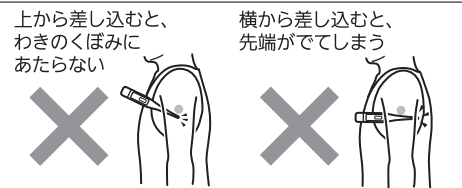
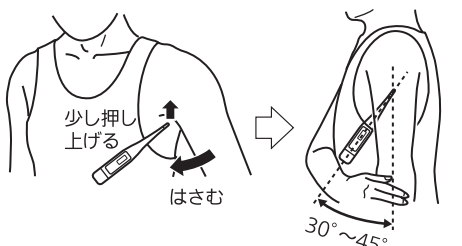
わきで測る場合

- わきの中心にあてる

温度が高いのはわきの中心

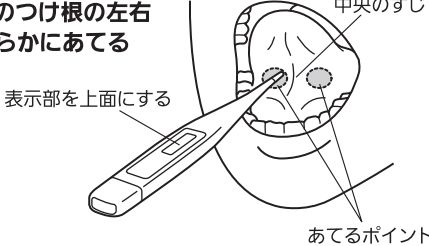


- 下から少し押し上げるようにして、わきをしっかりとしめる
わきと体温計が密着するように腕を軽く押さえてください。

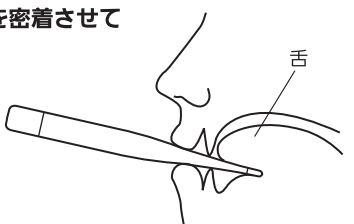


口中で測る場合

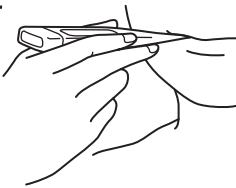
- 舌下のつけ根の左右どちらかにあてる



- 舌で体温計を密着させて口を閉じる

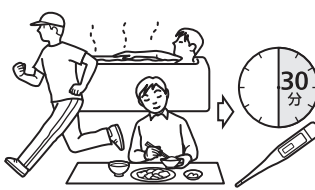


- 体温計がずれないように手で支える
- 検温中は口を開かない
口で呼吸しない



こんなときは正しく測れません

- 運動や入浴、飲食の直後
30分以上時間をあけてください。



- 長時間布団の中にいたりして、わきの下が汗ばんでいるとき
わきから汗をきれいにふき取ってください。



- 起床直後に動き出したとき
起床直後の動く前に測るか、動き出してから30分以上時間をあけてください。

※起床直後に動き出したときは、体温が高くなり、変動が大きくなっています。

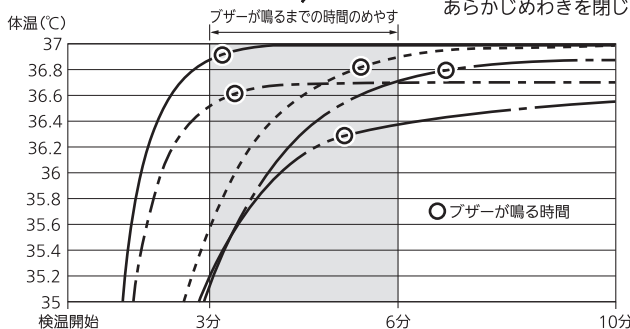


検温のしくみ

温度上昇がほとんどなくなるとブザーが鳴ってお知らせします。

ビビビビ、ビビビビ、ビビビビ

〈わきで検温した場合〉



※人によって温度上昇の遅い人と速い人がいますので、ブザーが鳴るまでの時間、そのときの温度には個人差があります。あらかじめわきを閉じて温めておくことと上昇が速いです。

一般的に実測式体温計の場合、正しく測るには、わきで約 10 分（口中で約 5 分）の時間が必要です。

温度は測り始めるとともに徐々に上がりますが、上昇がほとんどなくなった時点を目安としてブザーでお知らせしています。例えば、わきの下では3～5分後にブザーが鳴ります。この場合、まだ最高温度（平衡温）に達していないので、体温が低めに測定される可能性があります。

体温の測りかた（検温）

1 電源を入れる



表示部が全点灯

188.8℃

前回測った体温が表示される（前回値表示）

36.8℃

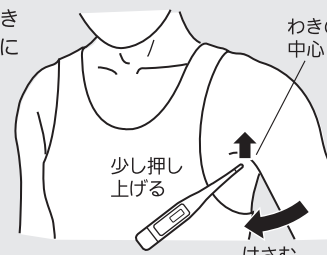
前回値であることを示すマーク

自己診断機能による回路チェック中「36.9℃」～「37.1℃」が表示されればチェック完了

37.0℃

2 「℃」が点滅したら、体温計をわきにはさむ

※口中で検温するとき
は、舌下のつけ根にあてます。



「℃」が点滅すれば準備完了

1℃

検温スタート

34.5℃

【ご注意】
「L」ではなく、温度が表示されている場合外気温（周囲環境温度）が体温を超えると体温計の先端部（感温部）が温まり、体温以上の温度を表示することがあります。この場合は、感温部をよく絞ったぬれタオルなどで冷やしてから検温してください。体温を超えない温度表示の場合は、そのまま検温が続けられます。

3 温度上昇がほとんどなくなると、「ビビビビ」 とブザーが3回鳴るので、検温結果を確認する

※正しく体温を測るにはわきで約 10 分（口中で約 5 分）測り続けてください。（詳しくは「検温のしくみ」をご覧ください。）



「℃」が点灯に変わる

36.8℃

4 電源を切って、収納ケースに入れる

約 30 分後（測定していないときは約 3 分後）に電源が切れますが、電池の消耗を防ぐため、電源は切ってください。

しっかりとまるまで差し込む



故障かな?と思ったら…

■検温値がばらつく

ここを確認する	処置のしかた
体温計の感温部をあてるところが、検温するたびに変わっていないか。	「体温計の正しいあてかた」を確認してください。

■思ったより検温値が低いと思ったとき

ここを確認する	処置のしかた
体温計を正しくあてていますか。	「体温計の正しいあてかた」を確認してください。
汗をかいていませんか。	汗をふいてから、もう一度測り直してください。
お知らせブザーが鳴るときの温度について	ブザーの鳴る温度は温度上昇のしかたによって変わります。「検温のしくみ」を確認してください。
予測式体温計で測った場合と比べていませんか。	この体温計は予測式体温計ではなく、実測式体温計です。実測式体温計の場合、ブザーが鳴ったときの温度はほぼ平衡温に達していますが、まだ少し温度上昇します。より正しい体温を測るには、10 分間測定してください。

■電源スイッチを押しても表示部に何も表示されない

ここを確認する	処置のしかた
電池の⊕⊖の向きが間違っていないか。	電池を正しく入れ直してください。
●電池が消耗していませんか。	新しい電池（LR41）と交換してください。
●表示部に「L」が表示されていませんか。	

■検温準備中に「36.9～37.1℃」以外の温度が表示される

ここを確認する	処置のしかた
電源を入れ直しても何回でも「36.9℃」～「37.1℃」以外が表示される。	故障の可能性がります。オムロンお客様サービスセンターへお問い合わせください。

■検温値以外が表示されたとき

表示	表示の原因	処置のしかた
L	感温部の温度が 32℃未満のときに表示されます。	エラーではありません。そのまま検温を続けてください。
H	感温部の温度が 42℃を超えるときに表示されます。	感温部を、よく絞ったぬれタオルなどで冷やしてもう一度測り直してください。

末永くご使用いただくためのお願い

故障の原因となりますので、下記の注意をお守りください。

- 人の検温以外には使用しないでください。
- 本体や収納ケースに強いショックを与えたり、落としたり、踏んだり、振動を与えないでください。
- 水気が付いたままケース内に収納しないでください。必ず、乾いた布でふき取ってください。

電池の交換のしかた

お買い求め時は、本体にお試用電池が入っています。お試用電池は、電池寿命の回数以内に切れることがあります。

使用電池: アルカリマンガンボタン電池 LR41（市販品）
お試用電池の表示は「LR41」とは異なる場合がありますが、交換の際は「LR41」をお買い求めください。

電池交換表示

電源を入れたときに右図の表示が出たら、電池を交換してください。

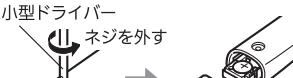
電池交換表示



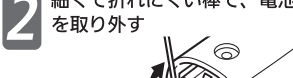
交換のしかた

※本体が水にぬれているときは、電池カバーを外さないでください。

1 本体裏面の電池カバーのネジを、小型ドライバで外し、カバーを取り外す
※ネジを外すときにゴムのリングをなくさないよう、注意してください。



2 細くて折れにくい棒で、電池を取り外す



※電池は飛び出すことがありますので、注意してください。

- 使用推奨期限の過ぎた電池を使わない。
- 使用済み電池・本体の廃棄方法は、市区町村の指導に従ってください。

